

## 再定住地における生活再建とコミュニティ形成に対するマイクロクレジットの効果

インド洋津波後のスリランカにおける住宅移転をともなう再定住に関する研究 その3

日本建築学会計画系論文集 第76巻 第668号/pp.1859-1866/2011年10月

正会員 前田 昌弘 君

本論は 2004 年インド洋津波からの復興過程において、被災地外への住宅移転が不可避免的に発生した再定住地における、生活再建およびコミュニティ形成へのマイクロクレジットの効果を検討したものである。従来、経済学や社会学等で取り上げられたマイクロクレジットをコミュニティ再生の視点で、計画学の立場から評価しようとした学際的で意欲的な労作である。

一連の研究を踏まえ、再定住地の住宅地計画において、住宅形式や住宅配置といった物理的・空間的手法だけでなく、マイクロクレジットのような社会的・経済的手法をも合わせて計画していくことによって、再定住を開始した直後の生活利便性が不十分な状況を補完し、居住持続性を高めうると示唆している。

わが国における東日本大震災後の高台移転等の再定住地における居住持続性を考える上でも、有用な知見を提供しており、奨励賞として相応しいといえる。